

5月 はせやまの風

舞鶴市立新舞鶴小学校だより

令和7(2025)年4月30日発行 学校HP

白糸中学校区「目指す子ども像」

自ら学ぶ子・人とつながる子

心も体も鍛える子・ふるさとを愛する子



思いを込める ～自分を表現する力～

最近では、すっかり「AI」という言葉が社会の中で浸透し、だれでも手軽に使える時代になってきています。先日も大学生の娘と話していると、大学の日常の勉強の中でも、「ChatGPT」などの「生成AI」と言われるアプリは普通に使っていると聞いて、もしかしたら悪用しているのではといらぬ心配をしてしまいました。そして、私の写真を使って、「ジブリ風」とかなんとか(私はよくわからなかったのですが)と「ChatGPT」に要求すると、右のような画像がものの数秒で完成しました。(思った以上に老けた感じに仕上がりに、少々不満ではありましたが)私も、少しやってみようと思い、この5月号の学校だよりの内容を「学校だより 5月号 巻頭言」とこちらの要求を入れて、作らせてみました。こちらほんの数秒で、それはそれは見事に学校だよりの巻頭言にふさわしい内容のものが出来ました。要求欄により具体的にこちらが望むワードを入れて考えさせると、こちらが望む通りのものが、いやそれ以上のものが考え出されてくると考えると少し怖くなりました。



ここ数年、新舞鶴小学校の児童の課題として、重点的に指導している力が「表現力」です。今求められている授業スタイルとして、探究的学習があります。その学習を進める中で、自分で調べたいと課題を設定する力やその課題解決のためにどうすればよいか考え追究活動をする力、調べたことをタブレットなどを使って上手にまとめる力は、だんだんと身に付いてきています。しかし、追究過程での気づきや感想、まとめたことからの考察や意見を、自分の言葉で“語る”ことはまだまだ弱さが見られます。簡単な言葉でまとめたり、弱々しい声での発表になったりして、その力不足を感じざるを得ないことが度々あります。自分の考えを堂々と自分の言葉で語る力は、これからの時代を生きていく中で、とても重要な力だと考えます。今後も、授業中の発言はもちろん、日直での司会やスピーチ活動、高学年は委員会活動やなかよし班(異年齢活動)での司会や意見発表、全校集会での発表など、教育活動全般を通して、“堂々と語る児童”の育成に努めていきたいと考えています。

「ChatGPT」のような「生成AI」が一般に広く広まる時代です。ありきたりな誰が話しても問題のない挨拶や感想文は、AIに任せることが普通になるかもしれません。しかし、そんな時代だからこそ、お互いを理解するために、その人となりを「その人が使う言葉」や「話す内容」からイメージし、その人への思いを込めたコミュニケーションを図ることが大切だと思います。そこには相手を敬い、尊重する気持ちが根底にあることが前提です。子どもたちがそういったコミュニケーション能力を獲得する場所は『学校』です。さらに言えば子どもが属する『学級』です。学校では、よりよいコミュニケーション能力を身に付け、高めるために『学級経営』にも力を入れていきます。だれにも居場所があり、だれにとっても居心地のよい学級づくりを、担任だけではなく学校としても取り組んでいきます。

温かい雰囲気のある学校の中で、血の通ったコミュニケーションをするための合言葉



ChantJDT = ちゃんと 自信を持って 堂々と 伝えよう

(Chant) (J) (D) (T)

明日から5月です。5月は、日々の学びや生活のリズムが整い、仲間との関係が少しずつ深まり、心が育っていく月です。子どもたちは、授業や行事、遊びを通して「わかる喜び」「できる楽しさ」「協力する大切さ」を実感しながら、学びを積み重ねていきます。ゴールデンウィークも真っ只中です。事故やけが、病気に注意し、楽しい連休を過ごしていただきたいです。しかし、4月に身に付けた学校生活のリズムが乱れないようにご家庭でも規則正しい生活を心がけていただきますようお願いいたします。

5月も、さわやかな子どもたちの元気な声が飛び交う学校にしていまいますので、保護者・地域の皆様の変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※この文の中で「ChatGPT」を活用して書いた部分があります。どこか分かりますか？

校長 亀井 敬介 教職員一同